



## 平成23年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 自重堂

コード番号 3597 URL <http://www.jichodo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 原 正貴

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務本部本部長

(氏名) 谷口 郁志

TEL 0847-51-8111

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年6月期第1四半期の連結業績(平成22年7月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年6月期第1四半期	3,489	△4.4	136	△50.7	△222	—	△166	—
22年6月期第1四半期	3,651	△18.2	276	△6.0	△290	—	△183	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年6月期第1四半期	△10.04	—
22年6月期第1四半期	△11.10	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年6月期第1四半期	29,696	22,405	75.4	1,353.54
22年6月期	30,258	23,145	76.5	1,398.11

(参考) 自己資本 23年6月期第1四半期 22,405百万円 22年6月期 23,145百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年6月期	—	0.00	—	35.00	35.00
23年6月期	—	—	—	—	—
23年6月期(予想)	—	0.00	—	35.00	35.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年6月期の連結業績予想(平成22年7月1日～平成23年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,000	△5.9	650	△27.6	300	△69.9	150	△73.8	9.06
通期	17,000	△0.3	1,500	△18.4	1,100	△45.6	600	△33.7	36.24

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年6月期1Q 17,653,506株 22年6月期 17,653,506株

② 期末自己株式数 23年6月期1Q 1,100,420株 22年6月期 1,098,860株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年6月期1Q 16,553,395株 22年6月期1Q 16,559,457株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。  
詳細は、【添付資料】P.3「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、急激な円高の進行と継続的なデフレにより、企業収益は低下し、雇用環境、個人消費においても引き続き厳しい状況が続いています。

このような状況のもと当社グループは、市況の逆風に立ち向かうべく、「働く人を応援します!」をメインテーマに掲げ、モノづくりからプロモーションに至るまでリアルを追求し、様々な仕掛けを発信することにより、愚直にモノづくりに取り組む「自重堂のワークウェア。」をキーワードに企業イメージの認知拡大を図っております。

基幹ブランドの「Jichodo」(ジチョウドウ)では、幅広いターゲット層に向けた企業イメージの構築を目的として、「俺の仕事着。」をコンセプトに、働く姿の誇りをリアルに表現したイメージビジュアルを制作し、次世代ブランドの「Jawin」(ジャウイン)では、若年層をメインターゲットに、「本気な分だけ、強くなる。」をコンセプトに、本気で戦い続けるカリスマ戦士の総合格闘家「桜庭和志」(さくらばかずし)選手、キックボクシング界で若手のホープとして期待を集める「城戸康裕」(きどやすひろ)選手をメインキャラクターに起用し、総勢17名の現役格闘家を起用したイメージビジュアルを制作し、プロモーション活動を強化いたしました。

生産面においては、主要生産国である中国における人件費の上昇、原材料価格の高騰に伴うコストアップや、慢性的な人員不足に伴う生産能力の低下に対応するため、生産体制の見直しを進め、新規協力工場の開拓を強化するなど、製造コストの低減と品質管理体制の強化に努めました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は3,489百万円(前年同四半期比4.4%減)となりました。利益面においては、前述のプロモーション関係費用を当第1四半期連結累計期間において集中して経費計上したことなどにより販売費及び一般管理費が増加し、営業利益は136百万円(前年同四半期比50.7%減)となりました。これに加え、急激な円高の進行により、輸入取引に係る為替変動リスクをヘッジする目的で行っておりますクーポンスワップ取引に係る時価評価等によりデリバティブ評価損296百万円を営業外費用に計上したことなどにより、経常損失は222百万円(前年同四半期は経常損失290百万円)、四半期純損失は166百万円(前年同四半期は四半期純損失183百万円)となりました。

なお、当社グループは単一セグメントに該当するため、セグメント情報は記載しておりません。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結累計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ562百万円減少し、29,696百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ710百万円減少し、17,782百万円となりました。これは主に、原材料及び貯蔵品が151百万円増加したことと、受取手形及び売掛金が1,000百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ147百万円増加し、11,913百万円となりました。これは主に、投資有価証券が283百万円増加したことなどによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ112百万円減少し、4,610百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が356百万円、未払金が125百万円増加したことと、未払法人税等が525百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ290百万円増加し、2,680百万円となりました。これは主に、固定負債その他が295百万円増加したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ739百万円減少し、22,405百万円となりました。これは主に、利益剰余金が745百万円減少したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は、前連結会計年度より79百万円減少し、9,191百万円（前連結会計年度比0.9%減）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は866百万円（前年同四半期は962百万円の獲得）となりました。これは主に、デリバティブ評価損296百万円、売上債権の減少1,000百万円、仕入債務の増加356百万円等による増加と、税金等調整前四半期純損失243百万円、たな卸資産の増加207百万円、法人税等の支払額536百万円等による減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は295百万円（前年同四半期は1百万円の使用）となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出303百万円等による減少によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は548百万円（前年同四半期は547百万円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払額546百万円等による減少によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、従来は当期においては国内の景気や生産活動は徐々に回復するものと予想していましたが、急激な円高の進行により、輸出企業を中心に先行きの不透明感が増しており、また、政府の景気対策も一巡したことなどから、今後も雇用環境や企業の設備投資は低調に推移するものと思われまます。個人消費や企業ユニフォームの需要も急激な回復は望めず、第2四半期連結累計期間の売上高は前回予想を900百万円下回る8,000百万円に修正いたします。営業利益については売上高の減少により、前回予想を250百万円下回る650百万円に修正し、加えて円高の進行により、デリバティブ評価損や為替差損の営業外費用への計上を見込み、経常利益は前回予想を700百万円下回る300百万円に、四半期純利益は前回予想を450百万円下回る150百万円に、それぞれ修正いたします。通期の業績予想につきましても、同様の理由により、それぞれ修正いたします。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

当第1四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,312,849	9,292,506
受取手形及び売掛金	4,336,165	5,336,529
有価証券	157,333	151,737
商品及び製品	3,149,791	3,118,717
仕掛品	63,800	39,065
原材料及び貯蔵品	290,111	138,138
繰延税金資産	271,404	172,002
その他	215,930	254,878
貸倒引当金	△14,803	△10,749
流動資産合計	17,782,583	18,492,827
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,572,548	2,614,032
土地	3,891,232	3,891,232
その他(純額)	183,409	169,706
有形固定資産合計	6,647,190	6,674,971
無形固定資産		
投資その他の資産	24,411	25,937
投資有価証券	4,367,870	4,083,970
繰延税金資産	346,661	357,216
その他	641,094	707,623
貸倒引当金	△113,401	△83,845
投資その他の資産合計	5,242,225	5,064,965
固定資産合計	11,913,828	11,765,873
資産合計	29,696,411	30,258,700

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,819,645	3,463,025
未払金	387,870	262,720
未払法人税等	6,098	531,651
返品調整引当金	46,901	60,226
賞与引当金	103,892	177,848
その他	246,127	227,832
流動負債合計	4,610,535	4,723,304
固定負債		
退職給付引当金	345,285	350,413
その他	2,335,302	2,039,711
固定負債合計	2,680,588	2,390,124
負債合計	7,291,123	7,113,429
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,982,499	2,982,499
資本剰余金	1,827,562	1,827,562
利益剰余金	18,620,899	19,366,457
自己株式	△949,648	△948,385
株主資本合計	22,481,313	23,228,135
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△62,164	△78,116
繰延ヘッジ損益	△13,860	△4,747
評価・換算差額等合計	△76,025	△82,863
純資産合計	22,405,287	23,145,271
負債純資産合計	29,696,411	30,258,700

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	3,651,478	3,489,278
売上原価	2,553,254	2,429,784
売上総利益	1,098,224	1,059,493
販売費及び一般管理費	821,815	923,097
営業利益	276,408	136,395
営業外収益		
受取利息及び配当金	9,596	14,308
受取賃貸料	34,314	25,663
その他	22,579	15,414
営業外収益合計	66,491	55,386
営業外費用		
賃貸収入原価	13,068	12,735
為替差損	63,392	102,095
デリバティブ評価損	555,567	296,042
その他	1,157	3,409
営業外費用合計	633,186	414,282
経常損失(△)	△290,286	△222,499
特別利益		
貸倒引当金戻入額	4,669	—
特別利益合計	4,669	—
特別損失		
固定資産除売却損	3,429	—
投資有価証券評価損	25,910	8,293
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	12,210
特別損失合計	29,339	20,503
税金等調整前四半期純損失(△)	△314,956	△243,003
法人税、住民税及び事業税	23,039	9,307
法人税等調整額	△154,122	△86,164
法人税等合計	△131,083	△76,857
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△166,145
四半期純損失(△)	△183,872	△166,145

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△314,956	△243,003
減価償却費	51,292	48,283
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,669	33,609
賞与引当金の増減額(△は減少)	△77,321	△73,955
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△7,391	△13,324
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△7,201	△5,127
受取利息及び受取配当金	△9,596	△14,308
投資有価証券評価損益(△は益)	25,910	8,293
デリバティブ評価損益(△は益)	555,567	296,042
売上債権の増減額(△は増加)	1,087,716	1,000,364
たな卸資産の増減額(△は増加)	△208,957	△207,781
仕入債務の増減額(△は減少)	△159,334	356,619
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	12,210
その他	108,595	189,711
小計	1,039,653	1,387,633
利息及び配当金の受取額	9,725	15,274
法人税等の支払額	△87,354	△536,809
営業活動によるキャッシュ・フロー	962,024	866,098
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△7,480	△7,480
定期預金の払戻による収入	7,480	7,480
有形固定資産の取得による支出	△5,259	△2,200
有形固定資産の売却による収入	4,620	—
無形固定資産の取得による支出	△3,285	—
投資有価証券の取得による支出	△76,470	△303,572
投資有価証券の売却による収入	20,922	—
投資有価証券の償還による収入	58,292	15,479
その他	△282	△5,169
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,463	△295,462
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△838	△1,263
配当金の支払額	△546,310	△546,346
リース債務の返済による支出	—	△588
財務活動によるキャッシュ・フロー	△547,148	△548,197
現金及び現金同等物に係る換算差額	△63,392	△102,095
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	350,019	△79,656
現金及び現金同等物の期首残高	7,843,173	9,270,826
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,193,193	9,191,169

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報

① 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自平成21年7月1日 至平成21年9月30日）

当社及び連結子会社は衣料品製造販売を事業内容としており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

② 所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自平成21年7月1日 至平成21年9月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、記載を省略しております。また、本邦以外の国又は地域に所属する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

③ 海外売上高

前第1四半期連結累計期間（自平成21年7月1日 至平成21年9月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成22年7月1日 至平成22年9月30日）

当社グループは、衣料品製造販売を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（追加情報）

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。